

十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	日本電力ヨリ受電
電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	
四七二・〇〇	二七九・三三	三二四・〇二	三三九・〇三	三八一・三三	四〇一・四二	三九八・六六	三九〇・三三	三六四・〇七	本期間供給及 使用時間數
三、二五二、五七〇	一、一〇一、九七〇	二、七九九、八四〇	二、〇六七、五四〇	一、八三〇、三〇〇	一、六四七、七〇〇	一、四〇三、九四〇	一、二九六、六〇〇	一、四三三、七〇〇	本期間總供給及 使用電氣力量
一、〇七四、〇〇	一、〇五五、〇〇	一、〇五六、〇〇	九、五〇〇、〇〇	八、四〇〇、〇〇	八、〇八〇、〇〇	七、九二〇、〇〇	六、四〇〇、〇〇	六、〇〇〇、〇〇	本期間最大供給 及 使用電氣力量
九、九一〇、〇〇	九、一五〇、〇〇	九、三三〇、〇〇	七、九五〇、〇〇	七、四二〇、〇〇	六、九四〇、〇〇	六、六〇〇、〇〇	五、三三〇、〇〇	五、六六〇、〇〇	本期間平均最大 供給及 使用電氣力量
六、八九五、〇七	六、一八八、〇〇	六、三六四、〇〇	五、四三三、〇〇	五、〇四九、〇〇	四、八〇四、〇〇	四、五〇四、〇〇	三、七二六、〇〇	三、八八二、〇〇	本期間平均供給 及 使用電氣力量
六九・一	六八・九	六八・五	六八・三	六八・一	六九・二	六八・九	六八・一	六八・六	本期間平均 負荷率

第十七表(其二) 每月供給及使用電氣力及電氣力量等 (電氣供給共用)

電氣供給(電燈及電氣鐵道(晝夜運轉)) (自昭和六年四月三十一日) (至全七年三月三十一日)

計	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月
電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道	電氣供給 夜間 鐵道
四、〇三〇・一七	三、五〇四・四八	三、五〇四・四八	三、五〇四・四八	三、五〇四・四八	三、五〇四・四八	三、五〇四・四八
一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八
一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八	一、〇九、九七九、五一八
三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇
三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇
三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇
三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇
三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇	三、二、五〇〇、〇〇

第十九表 固定資本及收支內譯

入					固 定 資 本
總	其 兼 業	車 動 自 合 乘	道 軌 氣 電	力 電 燈	
		其 客	貨 客	其 料 金 他 合 計 (定額從量合計)	其 料 金 他 合 計 (定額從量合計)
計	計	計	計	計	計
四四、二二九、三九一〇三〇	三、二三七、七九三一一〇〇	二、四九九、四四七三六〇	一三、八六二、八九七二七〇	六、七二四、九九九一一〇	一七、九〇四、二七四一八〇
		二、四三二、九二九六〇〇 六六、五一七七六〇	一三、八六二、八九七二七〇		九七、二八一、〇九四〇四〇 一三、六六一、四六四〇〇 一一、五三八、五四四〇〇 一、八〇七、九〇一四〇〇 四三〇八

出												
車 動 自 合 乘			業 事 氣 電									
合	其 車 車	其 車 車	合	其 車 車	軌 道	電 球	需 用 家 屋 內 工 作 物 維 持 費	饋 電 線 路	配 送 電 線 路	變 電 所 維 持 費 及 運 轉 費	電 力 料	發 電 所 維 持 費 及 運 轉 費
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
二、一五六、七三〇二三〇	一、五九二、八九〇一三〇	四二四、一五四九三〇	二四、三六五、二六二七三〇	四、五一六、八八八四二〇	五、八六一、五六九八三〇	九九一、六三七三九〇	一、六一六、九二二一一〇	二三四、一七九七七〇	三一〇、三三一五九〇	八、四八五、二七三〇九五〇	九一、六三三三七〇〇	四二六、二一三五二〇〇
										給 運 電 輸 變 電 所 費	給 運 電 輸 變 電 所 費	給 運 電 輸 動 力 料

兼 其
總

業 他
計

二六、五二一、九九二
九六〇

大阪市電氣軌道乘車料條例

第一條 本市電氣軌道ノ電車ニ乗車スル者ハ料金ヲ支拂ヒ乗車券ヲ受クルコトヲ要ス

五歳未満ノ小兒ハ保護者一人ニ付二人ヲ限リ乗車券ヲ受ケスシテ乗車スルコトヲ得其ノ制限ヲ超過シタル小兒ニ對シテハ三人迄毎ニ内一人ヲ保護者ト看做シ乗車料ヲ徵シ他ノ二人迄ハ無料トス

第二條 乗車券ノ種類及其ノ料金左ノ如シ

片道券	金 六 錢
往復券	金 十二 錢
八回券	金 四十八 錢
十七回券	金 一 圓
三十四回券	金 二 圓
乗換券	無 料

第二條ノ二 市長事業上必要ト認ムルトキハ前條ノ料金ニ依リ他ノ交通機關トノ連絡乗車券ヲ發行スルコトヲ得

第三條 左ノ時間内ニ於テ乗車スルモノニ對シテハ割引片道券並割引往復券ヲ發行ス

自三月一日	午前五時ヨリ同七時マテ
至十月三十一日	
自十一月一日	午前五時ヨリ同七時三十分マテ
至翌年二月末日	

割引往復券ノ復券ハ前項ノ時間外ト雖之ヲ使用スルコトヲ得

第四條 前條ニ依リ發行スル乗車券ノ料金左ノ如シ
割引片道券 金 五 錢

割引往復券 金 九 錢

第五條 陸軍兵卒ニシテ制規ノ服裝帶劍ヲ爲ス者及海軍卒ニシテ制規ノ服裝ヲ爲ス者ニ對シテハ軍人往復券ヲ發行シ其ノ料金ヲ九錢トス

第六條 中學校令、高等女學校令、實業學校令及小學校令ニ依ル學校並市長ニ於テ之ト同等ト認定シタル學校ノ生徒ニシテ通學ノ爲乗車スル者ニ對シテハ料金ノ割引ヲ爲シ通學回数券ヲ發行ス
前項ニ依ル學校ノ認定ハ當該學校代表者ノ申請ニ基キ之ヲ爲ス
通學回数券ヲ受ケムトスル者ハ在學學校ノ證明書ヲ提出シ之ヲ請求スヘシ

第七條 本市立學校職員及市區役所所屬職員ニシテ通勤ノ爲乗車スル者ニ對シ市參事會ニ於テ必要アリト認メタルトキハ料金ノ割引ヲ爲シ通學回数券ヲ發行スルコトヲ得

第八條 通學回数券及通勤回数券ノ種類並其ノ料金各左ノ如シ
二十五回券 金 一 圓
五十回券 金 二 圓

通學回数券及通勤回数券ハ記名トシ其ノ有効期間ハ發行ノ當月及翌月中トス
通學回数券及通勤回数券ハ同一人ニ對シテハ同月中ニ於テ五十回券一冊又ハ二十五回券二冊以内ニアラサレハ之ヲ發行セス
通學回数券及通勤回数券ノ使用ハ各其ノ券面ノ記名人ニ限ル記名人以外ノ者之ヲ使用シタルトキハ記名人ノ承諾ヲ得タルト否トニ拘ラス該回数券ノ全部ヲ無効トス

第九條 乗換券ヲ交付スル場合ニハ乗換ノ時間及停留場並行先等ヲ指定ス

附 則

- 第十六條 本條例施行ニ必要ナル細則及乘車規定ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十七條 (削 除)
- 第十八條 明治四十四年本市告示第七十九號ハ本條例施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

(大正六年十月十五日ヨリ施行)

大阪市乗合自動車料金額條例

- 第一條 乘車券ノ種類及其ノ料金額左ノ如シ

一 普通 券	金 六 錢
二 區 券	金 十 二 錢
三 區 券	金 十 八 錢
四 區 券	金 二 十 錢
一 回 數 券	金 四 十 八 錢
八 區 券	金 一 圓
十 七 區 券	金 一 圓
三 十 四 區 券	金 二 圓
一 差 額 券	金 二 錢
- 市長事業上必要ト認ムルトキハ前項料金額ノ四割以内ノ割引ヲ爲スコトヲ得

- 指定時間内ニ指定ノ停留場ニ於テ乗換ヲ爲ササルトキ又ハ指定ノ行先ヲ變更シタルトキハ其ノ乗換券ヲ無効トス
- 第十條 市長ハ特別ノ事由アル場合ニ於テハ團體乗車ノ爲貨切乗車券ヲ發行シ一車ノ貨切ヲ爲スコトヲ得
- 貨切乗車券ノ料金額ハ貨切車ノ乘車定員ニ對シ一人ニ付金參錢以上金九錢以下ノ割合ヲ以テ市長之ヲ定ム
- 第十一條 既納ノ料金額ハ事由ノ如何ニ拘ラス之ヲ還付セス
- 第十二條 市長ハ事業上必要其ノ他特別ノ事由アリト認ムル者ニ對シ記名ノ無料乘車券ヲ發行スルコトヲ得
- 前項ノ無料乘車券ハ記名人以外ノ者之ヲ使用シタルトキハ無効トス
- 第十三條 乘車料金額ヲ増額シタルトキハ既ニ發行シタル舊乘車券ハ施行ノ日ヨリ滿一箇年以内ハ之ヲ新乘車券ト引換ヲ請求スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ新舊乘車料金額ノ差額ヲ納付スヘシ
- 前項所定ノ期間内ニ引換ヲ爲ササル舊乘車券ハ無効トス
- 第十四條 電車係員ノ請求アリタル場合ニ於テ乘車券ノ検査ヲ拒ミ若ハ乘車券取集ノ際之ヲ交付セサル乘車人ニ對シテハ相當料金額ヲ支拂ハシメ尙九圓以下ノ過料ニ處ス記名ノ乘車券ヲ他人ニ讓渡又ハ貸與シ若ハ故意ニ無効ノ乘車券ヲ使用シタル者亦同シ
- 第十五條 乗換券ハ有償タルト否トニ拘ラス之ヲ他人ニ使用セシムルコトヲ得ス
- 前項ノ規定ニ違反シタル者ハ五圓以下ノ過料ニ處ス他人ノ乗換券ヲ使用シタル者亦同シ
- 第十五條ノ二 市長事業上必要ト認ムルトキハ本條例ニ規定セル料金額ノ五割以内ノ臨時割引ヲ爲スコトヲ得

- 車賃切ハ十二時間以内トシ其ノ料金額ハ一車ニ付一百圓以下ニ於テ市長別ニ之ヲ定ム
- 第一條ノ二 市長事業上必要ト認ムルトキハ前條ノ料金額ニ依リ他ノ交通機關トノ連絡乘車券ヲ發行スルコトヲ得
- 第二條 乘車區間四區ヲ超ユルモノハ四區分ノ料金額ニ止ム
- 第三條 五歳未満ノ小兒ハ保護者一人ニ付一人限り無料トシ二人以上ハ二人毎ニ一人分ノ料金額ヲ徵ス
- 第四條 第一條ノ回数券一區分ヲ以テ本市電氣軌道ノ一回乘車券ニ代用スルコトヲ得
- 第五條 本市電氣軌道ノ回数乘車券及往復券ノ復券ハ其ノ一枚ヲ以テ乗合自動車一區券ニ代用スルコトヲ得但シ割引往復券、軍人往復券、通勤回数券及通學回数券ハ此ノ限ニアラス
- 第六條 前條ノ代用券又ハ第一條ノ回数券ヲ以テ四區以上乘車セムトスルモノハ代用券又ハ回数券三枚ニ差額券一枚ヲ添付スヘシ
- 第七條 區間ハ市長之ヲ定ム但シ一區間ハ「キロメートル」以上トス
- 第八條 乘車券ハ區間ノ中途ニ於テ下車シタルトキハ殘區間アル場合ト雖モ其ノ效力ヲ失フ
- 第九條 既納ノ料金額ハ事由ノ如何ニ拘ラス之ヲ還付セス
- 第十條 市長ハ事業監督上必要アル場合ニ限り市吏員ニ對シ監査票ヲ交付シ無料ニテ乘車セシムルコトヲ得
- 第十一條 料金額變更シタル場合ニ於テ舊乘車券ヲ所有スル者ハ施行ノ日ヨリ滿一箇年以内ニ限り之ヲ新乘車券ト引換ヲ請求スルコトヲ得但シ料金額増額ノ場合ニ在リテハ新舊乘車料金額ノ差額ヲ納付シ料金額減額ノ場合ニ在リテハ其ノ差額ノ拂戻ヲ受クヘシ

大阪市電氣使用條例

第一章 總 則

- 第一條 本市ハ本條例ノ定ムル所ニ依リ電燈、電動力、電氣扇、電熱其ノ他一般ノ電氣應用ニ關スル目的ノ爲電氣ヲ供給ス
- 第二條 本市ノ供給スル電氣ヲ使用セムトスル者ハ本市ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス
- 第三條 電氣使用ノ承認ヲ受ケタル者カ本條例ノ規定ニ依リ有スル權利、義務ハ讓受又ハ相續、遺贈等ニ因リ之ヲ包括シテ承認スルコトヲ得
- 前項ノ場合ニ於テハ承繼者ハ其ノ承繼ノ事實ヲ證明シテ名義變更ノ申出ヲ爲スコトヲ要ス
- 第四條 需用場所ニ達スル配電線路(變壓器及附屬器具ヲ含ム)及引込線ノ施設並維持ハ本市ノ負擔トス但シ需用者ノ請求又ハ施設地

ノ狀況ニ因リ其ノ新設若ハ延長ノ爲特殊ノ設備ヲ必要トシ又ハ多額ノ費用ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ施設費ノ一部ヲ需用者ノ負擔トナスコトアルヘシ此ノ場合ト雖モ其ノ施設シタル電氣工作物ハ本市ノ所有トス

第五條 需用場所ニ於ケル電氣工作物ノ施設及維持ハ本條例ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外需用者ノ負擔トス

需用者ニ於テ前項ノ電氣工作物ニ關スル工事ヲ施行セムトスルキハ工事着手前其ノ設計方法ニ付本市ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第六條 需用場所ニ於ケル既設電氣工作物ニ付電氣使用ノ承認ヲ請求スル場合ハ其ノ工作物ノ設計方法ニ付テモ亦承認ヲ受クルコトヲ要ス

第七條 需用者ニ於テ施設シタル電氣工作物ニ付テハ其ノ使用前本市ノ検査ヲ受クルコトヲ要ス

前項ノ検査ニ要スル費用ハ需用者ノ負擔トス

第八條 需用場所ニ於ケル電氣工作物ニシテ左ニ掲ケルモノハ本市ノ負擔ヲ以テ之ヲ施設シ且ツ維持ス

一 白熱定額電燈並之ニ關スル布線及附屬器具

二 弧光燈並之ニ關スル布線及附屬器具

三 電氣扇電熱器並之ニ關スル布線及附屬器具

四 積算電力計

五 電動機及附屬品

前項ノ場合ト雖モ請求アルトキハ需用者ヲシテ電氣工作物ノ施設及維持ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 需用者ニ於テ電氣使用ノ全部又ハ一部ヲ中止若ハ廢止セムトスルトキ又ハ其ノ中止ニ係ルモノノ復舊使用ヲ爲サムトスルトキハ

狀又ハ故障アルコトヲ認メタルトキハ遲滞ナク其ノ旨本市ニ通知スルコトヲ要ス

第十八條 需用者ハ電氣工作物ニ直接關係ヲ及ボスヘキ物件ヲ新設増設、變更又ハ修繕セムトスルトキハ工事着手三日日前ニ其ノ旨ヲ本市ニ通知シ立會ヲ求ムルコトヲ要ス

第十九條 左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ電氣ノ供給ヲ中止スルコトアルヘシ

一 電氣工作物ニ故障ヲ生シ若ハ生セムトスル虞アルトキ又ハ修繕其ノ他工事上已ムヲ得サルトキ

二 非常變災其ノ他不可抗力ニ因ルトキ

第二十條 左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ電氣ノ供給ヲ停止シ又ハ其ノ使用ノ承認ヲ取消スルコトアルヘシ

一 電燈電動力電氣扇電熱料金、器具使用料、準備料、工事費、検査費、賣品代金、試験料又ハ賠償金等本市ニ對シ支拂フヘキ金額ノ支拂ヲ延滞シタルトキ

二 第二十二條第二項ノ保證金ヲ指定期間内ニ提供セサルトキ又ハ保證人ヲ立テサルトキ

三 溢リニ電氣工作物ノ施設ヲ變更シ若ハ之ヲ分解シ又ハ他ノ物件ヲ之ニ接続シタルトキ

四 故ナク本市係員ノ電氣工作物ニ關スル検査若ハ作業ヲ拒ミ又ハ之ヲ妨害シタルトキ

五 故意又ハ重大ナル過失ニ因リ電氣工作物ヲ毀損若ハ亡失シ又ハ電氣ノ使用ニ關シ本市ニ損害ヲ生セシメタルトキ

六 第十二條ノ規定ニ依リ本市ヨリ求メタル工事ヲ怠リタルトキ

七 第十八條ノ規定ニ違背シタルトキ

キハ少クとも二十四時間前ニ本市ニ申出ツルコトヲ要ス

第十條 引込線及需用場所ニ於ケル本市所有ノ電氣工作物ハ其ノ使用ヲ廢止シタル場合ト雖モ本市ニ於テ全部又ハ一部ヲ存置スルコトヲ得但シ需用者又ハ利害關係人ヨリ取除ノ請求アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 需用者ノ請求ニ因リ引込線又ハ需用場所ニ於ケル本市所有ノ電氣工作物ノ位置ヲ變更スル場合及前條但書ノ場合ニ於テハ其ノ工事費ハ請求者ノ負擔トス

第十二條 本市ニ於テ保安上必要ト認ムルトキハ需用場所ニ於ケル電氣工作物ニシテ需用者ノ負擔ヲ以テ施設シタルモノニ付其ノ變更修繕若ハ特別裝置ノ施設ヲ求メ又ハ其ノ取除ヲ求ムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テモ其ノ工事費ハ需用者ノ負擔トス

第十三條 需用場所ニ於ケル電氣工作物ニ關シテハ需用者ニ於テ其ノ負擔ニ屬スル工事ノ施行ヲ本市ニ委託スルコトヲ得

第十四條 第五條第二項、第六條及第七條ノ規定ハ本市ニ於テ工事ヲ施行シタルモノニ關シテハ之ヲ適用セス

第十五條 故意又ハ過失ニ因リテ需用場所ニ於ケル本市所有ノ電氣工作物ヲ毀損若クハ亡失シタルトキ又ハ電氣ノ使用ニ關シ本市ニ損害ヲ生セシメタルトキハ需用者ハ其ノ損害ヲ賠償スルコトヲ要ス

第十六條 需用者ニ於テ負擔スル電燈器具、電動機、電氣扇、電熱器其ノ他電力裝置ノ容量、燭光、能率等ハ記録又ハ試験ニ依リ本市ニ之ヲ認定ス

前項ノ試験ニ要スル費用ハ需用者ノ負擔トス

第十七條 需用者ハ需用場所ニ於ケル電氣工作物若ハ電氣作用ニ異

ハ 第二十六條第二項、第二十七條又ハ第五十三條ノ規定ニ違背シタルトキ

第二十一條 法令ノ規定又ハ前二條ノ規定ニ依リ電氣ノ供給ヲ中止若ハ停止シ又ハ其ノ使用ノ承認ヲ取消シタル爲メ需用者ニ於テ損害ヲ受クルコトアルモノハ其ノ責ニ任セス

第二十二條 定額料金、器具料、準備料、工事費、検査費、試験料及賣品代金ハ之ヲ前納トシ其ノ他ノ料金若ハ前納シ能ハサル事由アリト認ムルモノハ別ニ其ノ納期ヲ定ム

前項ノ料金及工事費等ニ充當スル爲保證金ヲ提供セシムルコトアルヘシ但シ場合ニ依リテハ保證人ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第二十三條 公益ヲ目的トスル事業ニ電氣ヲ供給スルトキ又ハ市長ニ於テ必要ト認ムルトキハ本條例ニ規定セル料金ヲ輕減スルコトヲ得

第二章 電 燈

第二十四條 電燈ノ供給時間ハ左ノ二種トス

一 夜間 日没三十分前ヨリ翌日ノ日出時迄送電スルモノ

但シ雨天曇天等ノ場合ハ點燈時間ヲ伸長スルコトアルヘシ

二 晝夜間 晝夜間斷ナク送電スルモノ

但シ毎月二日以内ニ於テ日出ヨリ日没三十分前マテ送電ヲ中止スルコトアルヘシ

第二十五條 電燈ノ供給方法ハ左ノ二種トス

一 定額供給 電燈各箇ノ燭光ヲ基準トシテ供給スルモノ

二 從量供給 電燈ノ使用電力量ヲ積算シテ供給スルモノ

從量供給ニ依ルモノハ之ヲ定額供給ニ變更スルコトヲ得ス

第二十五條ノ二 一需用場所ニ於ケル定額供給ニ依ル屋内電燈ハ取

付筒數五箇未滿又ハ總容量百五十「ワット」未滿ノモノニ限ル但シ已ムヲ得サル事由アリト認ムルモノニ付テハ取付筒數十箇未滿又ハ總容量三百「ワット」未滿ノ場合ニ限り定額供給ニ依ルコトアルヘシ

前項ノ取付筒數及總容量中ニハ使用ノ延期又ハ中止ニ係ルモノヲ含ム此ノ場合ニ於テハ一箇ノ容量ヲ三十「ワット」ト看做ス

第二十六條 定額供給ニ依ル白熱真空電燈球ハ本市ノ負擔ヲ以テ交付ス但シ需用者ニ於テ破損又ハ滅失セシメタル場合ハ需用者ノ負擔トス

前項ノ電燈ニハ本市ヨリ交付シタル以外ノ電燈球ヲ取付クルコトヲ得ス但シ特殊ノモノハ需用者ノ負擔ヲ以テ之ヲ取付クルコトヲ

得

第二十七條 前條第二項但書ノ定額供給ニ依ル白熱電燈球ハ金屬織條ニシテ本市ノ檢定ヲ經タルモノニ限ル需用者ノ負擔ヲ以テ弧光燈ヲ取付クル場合モ亦本市ノ檢定ヲ經ルコトヲ要ス

第二十八條 同一ノ需用場所ニ於ケル白熱電燈ニ付テハ定額供給ト從量供給トヲ併用スルコトヲ得ス但シ屋外ニ施設スルモノハ此ノ限りニ在ラス

第二十九條 定額供給ニ依ル電燈ノ需用者ハ其ノ使用ノ種類ニ依リ左表ノ料金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ需用者ニ於テ屋內工作物ノ施設並維持ニ要スル費用ヲ負擔スル場合ニ於テハ第一表ノ料金ヨリ五分ノ割引ヲナスモノトス

第一表 白熱定額點燈料金 (一月一箇ニ付)

真空タンダステン電球燭力	電球容量	夜間料金	晝夜間料金
八燭光	十「ワット」以下	四十錢	夜間料金ノ二倍
十六燭光	二十同	五十錢	同
二十五燭光	三十同	六十錢	同
四十燭光	四十六同	九十錢	同
五十燭光	六十同	一圓十錢	同

第二表 弧光燈料金 (一箇ニ付)

八十燭光	八十八同	一圓六十五錢	同
百燭光	百五同	一圓九十二錢	同
二百燭光	二百同	三圓三十七錢	同
二百燭光又ハ二百「ワット」ヲ超ユルモノ		百燭光又ハ百「ワット」迄ヲ増ス毎一圓四十五錢ヲ加フ	同

弧光燈種類	一月夜間點燈料	晝夜間點燈料		中止中器具損料
		夜間	晝夜間	
普通弧光燈	十六圓	一圓六十錢	三圓二十錢	一圓
E型フレイム弧光燈	二十圓	四圓	四圓	一圓五十錢
O型フレイム弧光燈	二十四圓	二圓四十錢	四圓八十錢	一圓五十錢

白熱瓦斯入電燈球ノ定額料金ハ其ノ電球容量ヲ基準トシ前項料金ヲ準用ス

第二十九條ノ二 百燭光ヲ超過ノ白熱電燈球ニシテ特ニ能率高キモノノ定額料金ハ其ノ種類ニ從ヒ前條料金率以下ニ於テ市長別ニ之ヲ定ム

第三十條 廣告燈及電柱廣告燈ノ施設並維持ニ要スル費用ハ需用者ノ負擔トス

第三十一條 定額供給ニ依ル廣告燈ノ料金ハ第二十九條第一項第一表ノ料金ヨリ七分引トス

電柱廣告燈ハ定額供給ニ依ルモノトシ其ノ燭力ハ二十五燭光以上ニ限ル

第三十二條 活動寫眞用トシテ使用スル弧光燈ノ料金ハ左表ニ依ルモノトス

種別	一月一箇ノ料金	短時間使用一月一箇ノ料金	臨時燈一日一箇ノ料金
夜間	六十圓	内一日二時間以	五圓
晝夜間	百圓	内一日三時間以	九圓
		使用ノ場合以	
		五十圓	

第三十三條 從量供給ニ依ル電熱ノ需用者ハ左表ノ料金率ニ一月ノ使用電力量ヲ乘シタル金額ヲ支拂フコトヲ要ス

計器種類	一「キロワット」時料金
二十五「アムペア」未満	九錢六厘
二十五「アムペア」以上	八錢七厘
五十同	七錢七厘
七十五同	六錢七厘
百同	五錢八厘

但シ「アムペア」當リ一月平均使用電力量十「キロワット」時以上ナルトキハ其ノ超過電力量ニ對シ前項單價ヨリ金一錢ヲ減スルモノトス

第三十四條 從量供給ニ依ル電燈ノ需用者ハ前條規定ノ料金ノ外左ノ送電準備料ヲ支拂フコトヲ要ス

計器種類	夜間一月準備燈	晝夜間一月準備料
計器種類	夜間一月準備燈	晝夜間一月準備料

一「アムペア」	五錢十	六錢十
三「アムペア」以上	一「アムペア」ニ付二十錢	一「アムペア」ニ付三十錢

第三十五條 從量供給ニ依ル電燈ノ需用者ハ同一場所ニ於テ左ニ掲タル電氣器具及電氣設備ノ爲其ノ電燈用積算電力計ニ依リテ電氣ヲ使用スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ使用電力量ハ電燈ニ使用シタルモノト看做ス

- 一 電氣扇、電氣熨斗其ノ他之ニ類スル電氣器具ニシテ本市ノ檢定ヲ經タルモノ
- 二 本市ニ於テ別ニ指定シタル電氣設備

第三十六條 臨時三十日以内ノ期間ニ於テ日數ヲ限定シ電燈ヲ使用セムトスルモノニ電氣ヲ供給スル場合ハ定額供給ニ依ル此ノ場合ニ於ケル料金ハ左ノ各級ニ區分シ遞次ニ其ノ料金ヲ増徴ス

臨時ニ電燈ノ燭光ヲ變更スル場合亦同シ

- 一 三日以下一日ニ付白熱定額燈料金ノ日割料金ノ四倍
- 二 四日以上七日以下一日ニ付白熱定額燈料金ノ日割料金ノ三倍
- 三 八日以上十五日以下一日ニ付白熱定額燈料金ノ日割料金ノ二倍
- 四 十六日以上三十日以下一日ニ付白熱定額燈料金ノ日割料金ノ

計器種類	使用料 (一月一箇ニ付)
三「アムペア」	三十錢

五割増

前項ノ規定ハ第三十一條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 定額供給ニ依ル電燈ノ需用者ハ同一需用場所ニ於テ左ニ掲タル電氣設備並器具ヲ定額供給ニ依リ使用スルコトヲ得

- 一 豆壘壓器
- 二 「ラゲオ」用「エリミネーター」、「ラゲオレイヤ」、「パイプレーター」、時計、電鈴
- 三 其ノ他之ニ類スルモノ

第三十八條 本市ニ於テ施設シタル電氣工作物ヲ使用スル白熱定額電燈需用者ニシテ電氣使用ヲ延期又ハ中止シタル場合ニ於テハ布線使用料トシテ一月一箇ニ付金十錢ヲ支拂フコトヲ要ス但シ居住者ノ移轉ニ依リ全部ノ使用ヲ中止シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條 第八條ノ規定ニ依リ本市ニ於テ施設シタル電燈用積算電力計ヲ使用スルモノハ左表ノ計器使用料ヲ支拂フコトヲ要ス

百	七十五	五十	二十五	十	十	五
同	同	同	同	同	同	同
一	一	七	五	四	四	三
圓	圓	錢	錢	錢	錢	錢
二十		十	十	十	十	十
錢		錢	錢	錢	錢	錢

第四十條 第八條ノ規定ニ依リ本市ニ於テ施設シタル需用者屋內工

作物ハ需用者ノ希望ニ依リ之ヲ賣渡スコトアルヘシ
前項賣渡代金ハ其ノ都度市長之ヲ定ム

第三章 電 氣 扇

第四十一條 電氣扇ノ供給時間及供給方法ハ第二十四條及第二十五

條ノ規定ニ準ス

第四十二條 定額供給ヲ更ニ月極(一月)及一夏期(夏期三月)ニ區別

シ其ノ使用方法及電氣扇ノ大サニ依リ左表ノ料金ヲ支拂フコトヲ
要ス但シ需用者負擔ノ電氣扇ヲ使用スル者ハ器具使用料ヲ支拂フ
コトヲ要セス

第一表 一夏期電氣扇料金及器具使用料 (一箇ニ付)

天井用		卓 上 用						種 別	
以五十 分内		十六分		二十分					
夜	晝	夜	晝	夜			晝		
間	間	間	間	間	特	自働回轉	間	夜	晝
				甲			甲	特	自働回轉
十	二	八	十	五			十		
一	十		六						
圓	圓	圓	圓	圓			圓		
				三	四	四	四	五	五
				圓	圓	圓	圓	圓	圓
				五	十	十	十	十	十
				錢	錢	錢	錢	錢	錢
						一	五	六	七
						圓	圓	圓	圓
				九	十	十	十	十	十
				圓	圓	圓	圓	圓	圓
									計

第二表 月極電氣扇料金及器具使用料 (一箇ニ付)

種別	卓上									電氣扇料金	器具使用料	計
	二十時			十六時			十時					
	晝	夜	間	晝	夜	間	晝	夜	間			
自働回轉	特	甲	間	晝	夜	間	特	甲	間	二圓七十五錢	三圓	八圓五十錢
自働回轉	特	甲	間	晝	夜	間	特	甲	間	二圓七十五錢	二圓五十錢	八圓五十錢
自働回轉	特	甲	間	晝	夜	間	特	甲	間	二圓七十五錢	二圓	七圓五十錢
自働回轉	特	甲	間	晝	夜	間	特	甲	間	二圓七十五錢	二圓七十五錢	五圓五十錢
自働回轉	特	甲	間	晝	夜	間	特	甲	間	二圓七十五錢	一圓七十五錢	四圓五十錢
自働回轉	特	甲	間	晝	夜	間	特	甲	間	二圓七十五錢	四圓五十錢	五圓五十錢
自働回轉	特	甲	間	晝	夜	間	特	甲	間	二圓七十五錢	四圓五十錢	五圓五十錢
自働回轉	特	甲	間	晝	夜	間	特	甲	間	二圓七十五錢	四圓五十錢	五圓五十錢

第四十三條 前條以外ノモノ、料金ハ前條各表ニ準シ市長之ヲ定ム
 第四十四條 卓上用十六時夜間月極卓上用自働回轉及天井用電氣扇

ハ總テ需用者ノ負擔トス
 第四十五條 從量供給ニ依ル電氣扇ノ使用ハ從量電燈ノ需用者ニ限

ルモノトシ其ノ電氣使用量ト看做ス
 第四章 電 動 力
 第四十六條 電動力ノ供給時間ハ毎日晝夜間斷ナク送電スルモノトス但シ毎月二日以内ニ於テ日出ヨリ日没三十分前マテ送電ヲ中止スルコトアルヘシ

第四十七條 電動力ノ供給方法ハ從量供給ニ依ル但シ積算電力計不足ノ場合其ノ他已ムヲ得サル場合ニ限り定額供給ニ依ルコトヲ得
 第四十八條 從量供給ニ依ル需用者ハ左表ノ電力料金一月ノ使用電力量ヲ乘シタル金額及送電準備料ヲ支拂フコトヲ要ス

電力料「キロワット」時ニ付	送電準備料月額	電動機馬力
四錢一厘四	一圓五十錢二	半馬力以下
四錢四	四三	一馬力以下
四錢四	四四	二馬力以下
四錢四	四四	三馬力以下
四錢四	五圓五十錢	五馬力以下
三錢九厘	七圓五十錢十	七馬力半以下
三錢九厘	四十五圓	十馬力以下
三錢九厘	四十五圓二十	十五馬力以下
三錢九厘	四十五圓三十	二十馬力以下
三錢八厘	四十五圓四十	三十馬力以下
三錢八厘	四十五圓五十	四十馬力以下
三錢八厘	四十五圓六十	五十馬力以下

五十馬力ヲ超ユル場合ノ送電準備料ハ一馬力ニ付月額金一圓以下電力料ハ「キロワット」時ニ付金三錢八厘以下ニ於テ其ノ都度市長之ヲ定ム
 直流ヲ以テ供給スル場合ノ送電準備料ハ一馬力ニ付月額金五圓以下電力料金ハ「キロワット」時ニ付金七錢以下ニ於テ其ノ都度市長之ヲ定ム
 第四十九條 第四十七條但書ノ場合ニ於ケル半馬力以上ノモノノ定額料金ハ一月一馬力ニ付金十一圓以下ニ於テ其ノ都度市長之ヲ定ム

前項定額料金ハ毎日午前六時又ハ午後六時ヨリ十二時間以内使用ノ場合ニシテ十二時間ヲ超ユルトキハ一馬力時又ハ其ノ未滿毎ニ金三錢八厘ノ割合ヲ以テ其ノ料金ヲ増徴ス直流ヲ以テ供給スル場合ノ定額料金ハ前各項ノ料金ニ十分ノ五以下ヲ増シタル額ノ範圍内ニ於テ其ノ都度市長之ヲ定ム
 第五十條 第八條ノ規定ニ依リ本市ノ電動機及附屬品ヲ使用スル需用者ハ左表ノ器具使用料ヲ支拂フコトヲ要ス

電動機ノ種類	半馬力	一馬力	二馬力	三馬力	五馬力	七馬力半	十馬力	十五馬力	二十馬力
器具使用料月額	一圓八十錢	二圓五十錢	三圓二十錢	四圓	五圓	八圓	九圓	十二圓	十四圓

二十馬力ヲ超ユル電動機及附屬品ノ使用料ハ一馬力ニ付月額七十錢以下ニ於テ其ノ都度市長之ヲ定ム

前二項ノ使用料ハ使用ノ有無ニ拘ラス之ヲ徵收ス

第五十一條 本市所有ノ電動機及附屬品ハ需用者ノ希望ニ依リ本市ニ於テ之ヲ賣渡スコトアルヘシ

前項賣渡代金ハ其ノ都度市長之ヲ定ム

第五十二條 電動力需用者ノ屋内電氣工事ノ費用ハ需用者ノ負擔トス修繕變更ノ場合亦同シ但シ第十三條ノ規定ニ依リ屋内工事(基礎工事ヲ除ク)ノ施行ヲ本市ニ委託シタルトキハ本市ノ見積リタ

ル工事費ヲ徵收ス
電動機及附屬品ノ位置替又ハ取除工事(基礎工事ヲ除ク)ハ本市ニ於テ之ヲ施行スルモノトシ之ニ要スル費用負擔ハ前項但書ニ依リ

第五十三條 電動力ニ使用スル電力ヲ電燈用ニ供スルコトヲ得ス但選信者自家用電氣工作物施設規則ニ依ルモノハ此ノ限リニ在ラス

第五十四條 四分ノ一馬力以下ノ單相電動機ニ關シテハ特別ノ規定ナキ限リ電燈ニ關スル規定ヲ準用ス

前項電動機ノ定額供給ニ依ルモノハ定額燈ノ需用者ニ限リ其ノ料金ハ左表ニ依ルモノトス

種別	晝夜間料金 (一月一臺ニ付)	夜間料金 (一月一臺ニ付)
三百五十「ワット」以下 (約四分ノ一馬力以下)	六圓	三圓五十錢
百五十「ワット」以下 (約十二分ノ一馬力以下)	四圓二十錢	二圓四十錢

第五十五條 前條第一項ノ電動機ニシテ從量供給ニ依ルモノハ從量燈ノ需用者ニ限ル

第十五條ノ規定ニ準ス

第五十六條 三相三線式四分ノ一馬力以下ノ電動機ノ定額料金ハ一月一臺ニ付金五圓トス

シ其ノ使用方法及電熱器ノ大サニ依リ左表ノ料金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ需用者負擔ノ電熱器ヲ使用スル者ハ器具使用料ヲ支拂フコトヲ要セス

第五十七條 電熱用電力ノ供給時間及供給方法ハ第二十四條及第二

第一表 一冬期電熱料金及器具使用料 (一箇ニ付)

種別	電熱料金	器具使用料	計
反射型ストロブ (五五〇ワット)	晝夜間 二十八圓	五圓五十錢	三十三圓五十錢
コタツ (四〇ワット)	晝夜間 十七圓五十錢	五圓五十錢	二十三圓
反射型ストロブ (五五〇ワット)	晝夜間 三圓	一圓	四圓
コタツ (四〇ワット)	晝夜間 二圓	一圓	三圓

第二表 月極電熱料金及器具使用料 (二箇ニ付)

種別	電熱料金		器具使用料		計
	晝夜間	夜間	晝夜間	夜間	
反射型ストロブ (五五〇ワット)	十圓	七圓五十錢	二圓	二圓	十四圓
コタツ (四〇ワット)	一圓二十錢	一圓	四圓	四圓	九圓五十錢
反射型ストロブ (五五〇ワット)	一圓	七圓	二圓	二圓	十二圓
コタツ (四〇ワット)	八圓	一圓	四圓	四圓	一十六圓

前項二表以外ノモノノ定額供給ハ一箇ノ容量三百「ワット」以下ニ限ルモノトシ其ノ料金ハ百「ワット」ニ付一月金三圓以下ニ於テ市長之ヲ定ム

第五十九條 從量供給ニ依ル需用者ハ左ノ料金ヲ支拂フコトヲ要ス

一「キロワット」時ニ付 金 四 錢

本市ノ積算電力計ヲ使用スル者ハ第三十九條ノ計器使用料ヲ支拂フコトヲ要ス

第六十條 前條第一項ノ場合ニ於テ一月ノ電氣使用料カ左ノ割合ニ依リ算出シタル金額ニ滿タサルトキハ其ノ金額ヲ最低料金トシテ徵收ス但シ契約容量六百「ワット」以下ノ場合ニ於ケル最低料金ハ

金一圓トス

契約容量 一「キロワット」ニ付 金一圓六十錢

電氣ヲ使用セサル場合ト雖前項ニ準シ最低料金ヲ徵收ス

第六十一條 電熱供給設備ノ新設又ハ増設ニ當リ「コタツ」等ノ如ク電燈ト兼用シ得ルモノヲ除ク外本市ニ於テ施設スル屋内工事ニ對シテハ工事費ノ一部ヲ徵收スルコトヲ得此ノ場合ニ於テモ該工作物ハ本市ノ所有トス

第六十二條 需用者負擔ノ電熱器ヲ使用スル需用者又ハ從量電燈使用ノ需用者ニ於ケル電熱用屋内設備ハ需用者ノ負擔トス

第六章 雜 則

第六十三條 本條例ニ定メタルモノノ外電氣供給ノ條件其ノ他本條例ノ施行ニ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

第六十三條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ電流制限器ヲ取付クルモノトス

一 電燈又ハ電熱需用者ノ希望ニ依ルトキ

二 本市ニ於テ必要ト認ムルトキ

前項第一號ノ場合ニ要スル費用ハ需用者ノ負擔トス

第六十三條ノ三 前條第一項第一號ニ該當スルモノニシテ本市ノ電流制限器ヲ使用スルモノハ左ノ制限器使用料ヲ支拂フコトヲ要ス

十 「アムペア」以下 一月一箇ニ付 金 十 錢

六十「アムペア」以下 同 金三十五錢

百「アムペア」以下 同 金七十五錢

第六十三條ノ四 從量電燈需用者電流制限器ヲ使用スル場合ニ於テハ其ノ準備料及電氣使用料金ハ制限容量ヲ積算電力計容量ト看做シ之ヲ算定ス

十ヲ以テ除シタルモノトス

第六十八條 定額電燈、月極電氣扇及月極電熱器ノ需用者ニシテ送電中止ノ請求アリタル場合ハ其ノ月十五日迄ハ半月分ヲ十六日以後ハ一月分ヲ徵收ス

第六十九條 一夏期電氣扇、一冬期電熱器需用者ハ其ノ使用期間ノ長短ニ拘ラス其ノ料金並器具使用料ノ全額ヲ徵收シ途中中止ノ場合ニ於テモ徵收シタル金額ハ還付セサルモノトス

第七十條 需用場所ニ裝置セル積算電力計ノ故障其ノ他ノ原因ニ依リ使用電力量ヲ算定シ能ハサルトキハ當該計算期ノ前三ヶ月間ニ於ケル平均使用電力量ニ依ル但シ電動機ノ負荷率著シク不同ナル事實明瞭ナルトキハ需用場所ニ於ケル設備並其ノ使用ノ狀況ヲ斟酌シ市長ニ於テ需用者トノ協定ニ依リ當該計算期ノ使用電力量ヲ定ム

第七十一條 第二十一條ノ規定ニ依リ電氣ノ供給ヲ停止シタル場合ト雖モ電氣使用料器具使用料及其ノ他ノ料金ニ關シテハ日割計算ヲナササルモノトス

第七十二條 本市ニ於テ左ニ掲グル事實アルコトヲ確認シタルトキハ其ノ事實ニ因リテ免レタリト認ムル電氣使用料ヲ支拂ハシム此ノ場合ニ於テ其ノ事實アリタル期間不明ナルトキハ六月以内ニ於テ市長之ヲ定ム

- 一 定額供給ヲ受クル者其ノ承認ヲ受ケタル燭光又ハ容量ヲ超エ電氣ヲ使用シタルコト
- 二 從量供給ヲ受クル者其ノ使用電力量ヲ積算セシメサル方法ヲ施シ電氣ヲ使用シタルコト
- 三 承認ヲ受ケサル場所又ハ方法ニ於テ電氣ヲ使用シ若ハ中止中

第六十三條ノ五 從量電熱需用者電流制限器ヲ使用スル場合ニ於テハ其ノ最低料金ハ制限容量ヲ契約容量ト看做シ之ヲ算定ス

第六十四條 電動機設置ニ關シ官廳ニ對スル諸願届出等ハ需用者ノ便宜ヲ圖リ本市ニ於テ代辨スルコトアルヘシ

第六十五條 第二十九條、第三十一條、第三十二條、第三十四條、第三十七條、第四十二條第二表、第四十八條ノ準備料、第四十九條、第五十四條、第五十六條、第五十八條第二表及第六十條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ其ノ月分ノ諸料金ハ左ノ場合ニ於テハ使用日數ニ應ジ日割ヲ以テ之ヲ計算ス

- 一 電氣使用ヲ開始シタルトキ
- 二 第九條ノ規定ニ依リ申出ヲナシテ電氣使用ノ中止廢止又ハ其ノ中止中ニ係ルモノノ復舊使用ヲナシタルトキ
- 三 電燈ノ燭光ヲ増減シテ料金率ヲ異ニシタルトキ
- 四 電氣扇、電熱器等ノ種類ヲ變更シテ料金率ヲ異ニシタルトキ
- 五 電動機ノ馬力數ヲ變更シテ料金率ヲ異ニシタルトキ
- 六 電氣工作物(電燈球ヲ除ク)ノ滅失ニ因リ電氣使用ノ不能トナリタルトキ

第七 前各號ノ外料金率ニ異動ヲ生スヘキ變更アリタルトキ

第六十六條 第三十九條、第四十二條、第五十條、第五十八條及第六十三條ノ三ニ依リ支拂フヘキ其ノ月分ノ器具使用及計器使用料ハ左ノ場合ニ於テハ使用日數ニ應ジ日割ヲ以テ之ヲ計算ス

- 一 器具使用ヲ開始シ又ハ廢止シタルトキ
- 二 前條第四號乃至第七號ニ該當スルトキ
- 三 器具ノ施設並維持ノ負擔者ニ異動アリタルトキ

第六十七條 前二條ニ依リ日割計算ハ月額料金ニ使用日數ヲ乘シ三又ハ停止中ニ係ルモノヲ使用シタルコト

四 規定ニ依ルノ外電動力又ハ電熱ニ使用スル電力ヲ電燈用ニ使用シタルコト

前項ノ場合ニ於テハ其ノ電氣使用料ノ三倍ニ相當スル金額(其ノ金額五圓未満ナルトキハ金五圓)以下ノ過料ヲ徵收スルコトアルヘシ

第七十三條 第三十三條、第四十八條、第六十條ニ於テ一月間ト稱スルハ積算電力計檢針ノ時ヨリ次ノ檢針ノ時ニ至ル期間ヲ謂ヒ其ノ檢針ハ積算電力計使用開始ノ月ニ在リテハ其ノ開始ノ日ニ於テ之ヲ行ヒ爾後毎月本市ノ定ムル一定日ニ之ヲ行フモノトス但シ電氣使用ノ全部ヲ中止又ハ廢止シタルトキ又ハ積算電力計ノ取替ヲナシタルトキハ其ノ都度檢計スルモノトス

第七十四條 第六十條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ最低料金ハ前條但書ノ規定ニ依ルトキハ一月間最低料金ニ其ノ使用日數ヲ乘シ三十ヲ以テ除シタルモノヲ其ノ期間ノ最低料金ト看做ス

第七十五條 法令ノ規定又ハ第十九條ノ規定ニ依リ供給ヲ中止シタル場合ニ於テ其停電一日中ニ引續キ四時間以上ニ亘ルムキハ第二十九條、第三十一條、第三十二條、第三十六條、第四十二條、第四十九條、第五十四條、第五十六條及第五十八條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ料金ノ計算ニ關シテハ其ノ停電日數ニ對スル日割料金ヲ除算シ第六十條ノ規定ニ依ル料金ノ計算ニ關シテハ其ノ停電日數ヲ當該計算期間内ノ使用日數ニ算入セス

附 則

第七十六條 本條例ハ大阪電燈株式會社ノ事業及財産ノ引渡シヲ受ケタル日ヨリ之ヲ施行ス

第七十七條 本條例施行前本市及大阪電燈株式會社ト需用者間ニ於テ特ニ料金其ノ他供給條件ヲ協定シタルモノニ在リテハ其ノ協定ノ條件ニ依ルモノトス

第七十八條 本條例施行前大阪電燈株式會社ニ於テ認定シタル布線器具其ノ他ノモノニシテ現ニ使用中ノモノハ本條例ニ依リ本市ノ承認又ハ検査ヲ經タルモノト看做ス

第七十九條 大正六年大阪市條例第二號電力使用條例ハ本條例施行ノ日限り之ヲ廢止ス

附 則

(昭和五年十二月一日市條例第十八號公布)

本改正條例施行ノ際現ニ定額供給ニ依ル電燈需用者ノ第二十五條ノ二ノ適用ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

(大正十二年十月一日ヨリ施行)

14.4
780

終